



2021年10月29日

各 位

会 社 名 リケンテクノス株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 常盤 和明
(コード番号：4220 東証第1部)
問合せ先 経 理 部 長 高見 亮一
(TEL 03-5297-1650)

2022年3月期 第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年4月30日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）の連結業績予想及び個別業績予想と本日公表の同期間の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）業績予想と実績値との差異 (1) 連結

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 50,000	百万円 2,300	百万円 2,300	百万円 1,300	円 銭 20.62
今回実績値（B）	50,965	3,076	3,307	2,137	33.90
増減額（B－A）	965	776	1,007	837	
増減率（％）	1.9	33.7	43.8	64.4	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2021年3月期第2四半期）	40,589	1,672	1,737	811	12.87

(2) 個別

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 18,500	百万円 700	百万円 600	円 銭 9.52
今回実績値（B）	19,831	1,586	1,272	20.17
増減額（B－A）	1,331	886	672	
増減率（％）	7.2	126.7	112.1	

2. 差異の理由

2021年4月30日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による景気下振れリスクはあるものの、持ち直しの動きが継続していくものと想定し策定致しました。

当第2四半期累計期間におきましては、国内市場における想定以上の経済の回復により売上高が予想を上回ったこと、及び販管費の見直しや利益率の改善に取り組んだ結果、利益については当初予想を上回ることであります。

なお、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大または収束の影響及び原油価格の高騰等による事業への影響など、現時点で合理的に算定することが困難であるため、2021年4月30日公表の業績予想から変更しておりません。影響が明らかになり、業績予想の修正が必要な場合には、速やかにお知らせいたします。

上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上